

## 特集

## 格差社会と生協

平等社会といわれてきた日本社会が実は「格差社会」なのではないかといわれ始めて、もう10年以上になるだろうか。「雇用形態の格差」とそれに基づく「収入・資産の格差」や「世代の格差」、買い物難民問題に代表される「アクセスの格差」と「地域の格差」、そして「男女の格差」「教育の格差」「希望の格差」等々、社会と生活のあらゆる側面で、人々が分断された状況が指摘されている。

さらに、さまざまな地理的・社会的な「コミュニティの崩壊」が、そうした分断状況・格差社会への対応をますます困

難なものとしている。子育てで孤立する母親に差し伸べる手も、日常の買い物にさえ不自由する人に対する声掛けも、誰かが意識してつくり、組織しなければ、容易には得られない時代なのである。

「生活を協同する」組織だとみずから名乗る生活協同組合は、この格差社会において何ができるのか。究極の格差社会である産業革命の時代に、それを克服しようとして誕生した協同組合が、いま日本に再来した格差社会に対していかなる可能性と課題を抱えているのか、特集する。

(本誌編集長 杉本貴志)

1. 座談会 ～組合員・職員と考える～ 格差社会の組合員とくらし (橋本 博子・井上 陽子・澁田 瑞希・今田 貴宏・高木 忠政・伊藤 晋也・和田 典子・荒井 力・杉本 貴志)
2. 働きやすい職場をめざして  
～コープさっぽろ人事部長 石井茜氏へのインタビュー (岩橋 涼)
3. 格差社会における奨学金問題と大学生協 (寺澤 智広)  
取材協力 全国大学生協連 田足井 肇氏・升本有紀氏
4. フードバンク、子ども食堂等への寄与 (竹野 豊)  
取材協力 セカンドハーベスト京都 澤田政明氏